

フルハイトドア新商品発表会

E—style新柄4種

神谷コーポレーション

神谷コーポレーション（横浜市、石井明社長）は、8月26日、27日の2日間、「第2回フルハイトドア新商品発表会2013」を同社横浜ショールームで開催した。

8月26日、27日の2日間、

新柄は、エルダーブラウン（EB）、ヨーロッパアン

「第2回フルハイトドア新商品発表会2013」を同社横浜ショールームで開催した。

2013年4月のフルモデルチェンジで、新しくなった「E—style（イースタイル）」シリーズの新柄3種類に、今回はさら



「E—style（イースタイル）」シリーズの新柄4種

れ、その後の成約に大きな期待が寄せられている。同社の各製品の特長は次の通り。

フルハイトドア 最大の特長は、天井まで届くドアの大きさと、上枠がない独特の納まりが生み出す、天井とのつながり。ドアを開くと、たくさんの光が差し込み、他では味わえない開放感を感じさせる。

また同社独自の2種類の枠納まり（インセット枠）は、枠を壁厚内の大きさまざまなコンパクトにして、目立たず、それでいて枠の機能をしっかり持っている。枠自体が調整機能を持つており、施工性に優れていると同時に将来的な交換も可能。

ステルス その名の通り、「こっそり」と壁の中に存在して枠の機能を果たす従来のドアの納まりの常識を超えた、全く新しい形状。これによりドアをさらに壁面化させ、すっきりとした空間を生み出す。

フルハイトヒ

ンジ ドアデザインの美しさを最大限に引き出すクールなデザイン。丁番に代わる次世代コンセプトアイテム。これまでの調整丁番やヒンジとの最大の違いは、ドアを閉めた状態で3方向（前後、左右、上下）の調整ができる。キャップを外し、専用レンチを回すだけで微妙な調整ができる。

反りに強い構造 従来からある防湿シート貼りでは、H2、400を超えるドアの反りを抑えることは困難であるが、同社はスチールパイプが持つ剛性と扉内の空気を循環させて熱を



神谷コーポレーションの新商品発表会